

お客様・パートナー様各位

fusion_place 8.1 リリースのご案内

2019年6月24日
株式会社フュージョンズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。
本日、fusion_place の新バージョン「8.1」をリリース致しましたことのお知らせ申し上げます。

記

1. リリースの位置づけ

本リリースは、一般向新機能版です。fusion_place cloud、premium に限定して提供されます。フルバージョン番号は、8.1.0-S118 です。

2. ご提供方法

弊社サポート窓口（support@fusions.co.jp）にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、
試用ページ(<https://www.fusions.co.jp/premium-download-request/>) からインストーラをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。後述する「インストール方法」をご参照下さい。

3. 主な機能改善点（8.0 対比）

（1）データベースアクセス処理の高速化とデータベース容量の圧縮

DB 内でのデータレイアウトの変更、データロード／書き込み処理の並列化、元帳データ等容量の大きくなるデータの圧縮により、データベースアクセス処理の高速化を図るとともに、データベース容量を圧縮しました。#890

（2）Excel-Link テンプレート処理での件数制限導入

従来、Excel-Link のテンプレート処理で全組み合わせ表示が有効な場合に、組み合わせ数が大きいと、データ取得後の行情報作成に長い時間がかかるケースがありました（実行タイムアウトが発生しない）。こうした場合はエラーメッセージを表示して処理を終了するようにしました。#888

（3）マネージャのメンバリストパネルのスクロール方式改善

画面サイズにより、マネージャのディメンション画面＞メンバリストパネルのメンバ選択式が途中までしかスクロールできない場合がある点、改善しました。
#883

（4）サーバーサイドでのガベージコレクション方式の変更

サーバーサイドのガベージコレクション方式として、Java 11 でデフォルトの G1GC より、従来のデフォルトであるパラレル GC を指定した方が、処理速度が速く、CPU 負荷も小さい（メモリ 2GiB での計測による）ことから、fusion_place のデフォルトインストールではパラレル GC が指定されるようにしました（JVM 起動オプションで「-XX:+UseParallelGC」が指定されます）。
#885

（5）メニューページの URL 修正

index.html, index-1G.html および関連アセット（画像、CSS 等）が /app ディレクトリに配置されていましたが、ルートに配置しました。後方互換性のため、/app/index.html, /app/index-1G.html も従来通り動作するように保全しています。アプリケーションプロキシでのアクセス制御の掛けやすさに配慮した変更です。#879

他にいくつかの不具合修正を織り込んでいます、詳しくはインストーラに添付された以下のファイルをご覧ください：

change-log.8.1.0-S118.txt

上記ファイルは、インストーラの zip ファイルを展開した際に現れる change-log フォルダにあります。

4. 新バージョンへのアップデートに際してのご留意事項

① fusion_place 実行環境のインストール

8.0.x からアップデートされる場合、「fusion_place 実行環境」のアップデートは必要ありません。

7.0.x 以前からアップデートされる場合、クライアント PC には、「fusion_place 実行環境」をインストールして頂く必要がございます。64-bit Windows 用の「fusion_place 実行環境」は、fusion_place メニューからダウンロード可能です。32-bit Windows をご利用されている場合は、弊社までご連絡下さい。

② Excel-Link アドインファイルの差し替え

当バージョンでは、Excel-Link アドインファイルは更新されていませんので差し替え不要です。なお、Excel-Link のバージョン番号は「6.2.2」です。

③ リクエストのバージョン選択(fusion_place premium, cloud のみ)

8.0.x からアップデートされる場合、リクエストのアップデートは必要ありません。

7.0.x 以前からアップデートされ、今回から、クライアントサイドでも Java11 以降をご利用の場合、今回、同梱した実行可能ファイル (jar ファイル) をご利用ください。Java 8 以前をご利用の場合、旧バージョンのリクエストを引き続きお使いいただけます。

5. インストール方法

インストール手続き自体は旧バージョンと変わりませんが、インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。

また、7.0.x 以前からアップデートされる場合は、前述のように、インストール後、各クライアント PC で「fusion_place 実行環境」をダウンロードしてインストールする必要がございます。

詳細は、本リリースのインストーラに同梱されているユーザマニュアル (fusionplace-usermanual.chm) の以下の項目をご参照下さい：

「fusion_place をセットアップする」

> 「02. セットアップ手続き」

> 「04. fusion_place をバージョンアップする際の手続き」

また、インストール後、ユーザが fusion_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意下さい。

- ① データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。
- ② 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。

以上